健　康　づ　く　り　課

企　画　推　進　グ　ル　ー　プ

1　健康づくり推進条例の制定

　府民の健康づくりの推進に向けて、多様な主体の連携・協働による“オール大阪体制”のもと、健康づくりの気運醸成を図り、府民一人ひとりが健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現するため、「大阪府健康づくり推進条例」を制定した。（公布・施行日　平成３０年１０月３０日）

　併せて、リーフレットを作成・配布するなどして、条例の周知啓発を行った。

2　第２期健康寿命延伸プロジェクト事業の推進

予　算　額　　９１，０４３千円

決　算　額　　８０，０６９千円

(1)　健康キャンパス・プロジェクト事業（若い世代の健康づくり推進事業）

予算額　３，１４０千円

決算額　１，４７０千円

府内の６大学と連携し、栄養・喫煙・歯と口・がん検診等、各大学の健康課題等を踏まえたテーマで学生向けの健康セミナーの開催をはじめ、子宮頸がん検診車の派遣により、女子学生を対象として検診の実施等を通じて、若い世代の健康意識の向上を図った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施場所 | 実施内容 | 参加者数 |
| 大阪大学  （豊中キャンパス） | ・がんセミナー（12/5）  ・子宮頸がん検診（12/14） | 検診受診者：29名 |
| 大阪府立大学  （中百舌鳥キャンパス） | ・がんセミナー  ・子宮頸がん検診（ともに12/20） | 検診受診者：39名 |
| 関西大学  （堺キャンパス） | ・がんセミナー  ・子宮頸がん検診（ともに10/29） | 検診受診者：8名 |
| 近畿大学  （東大阪キャンパス） | ・喫煙対策セミナー（10/19）  ・食育セミナー(12/12)  ・V.O.S.メニューの開発、食堂での提供（1/28～2/8） | 喫煙セミナー：約40名  食育セミナー：約130名 |
| 摂南大学  （枚方キャンパス） | ・がんセミナー  ・子宮頸がん検診（ともに10/15） | 検診受診者：18名 |
| 立命館大学  （大阪いばらきキャンパス） | ・がんセミナー（9/27）  ・子宮頸がん検診（10/5）  ・歯と口の健康セミナー  ・お口のチェック（ともに11/8） | 検診受診者：41名  歯と口セミナー：約30名 |

(2)　中小企業の健康づくり推進事業

予算額　２０，６０１千円

決算額　１６，１０９千円

　府内中小企業（主に製造業）を対象に、「健康経営ナビゲーター」を派遣し、職場における健康経営に係る取組みを支援した。

　また健康経営や職場の健康管理などに関する「健康経営セミナー」を開催するとともに、従業員 の健康づくりにつながる優れた取組み等を表彰する「健康づくりアワード」を実施し、健康経営の普及啓発を行った。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| ナビゲーター派遣 | １１社を支援し、事例集を作成 |
| 健康経営セミナー | ワークショップ形式２回、講座形式３回のセミナーを開催し、  計４８８人が参加 |
| 健康づくりアワード | １６団体を表彰 |

(3)　女性の健康づくり推進

　①　女性のための健活セミナー事業

予算額　２，２７４千円

決算額　１，３００千円

　　働く女性を対象に、女性特有の健康課題を踏まえたテーマ（乳がん、食事、メンタルヘルス等）で、セミナーを開催し、女性の健康関心度の向上を図った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施場所（日程） | テーマ | 参加者数(合計849人) |
| グランフロント大阪  （8/22） | ・驚くべき唾液の力  ・知りたい女性の健康とホルモンバランス | 157人 |
| あべのハルカス  （8/29） | ・働く女性のメンタルヘルス  ・食事から作る健康 | 248人 |
| グランフロント大阪  （9/12） | ・気になる女性のがんと乳がん検診  ・食事から作る健康 | 151人 |
| あべのハルカス  （9/19） | ・気になる女性のがんと乳がん検診  ・スポーツ栄養学に基づく食事と運動習慣 | 140人 |
| あべのハルカス  （11/16） | ・知ってナットク！子宮と骨盤の関係  ・スポーツ栄養学に基づく食事と運動習慣 | 153人 |

　②　子育て女性の禁煙支援事業

予算額　　　１，８６０千円

決算額　　　１，８６０千円

　　乳幼児健診等にあわせて喫煙経験のある母親への歯科健診を行い、母親の喫煙状況調査及び禁煙の

助言を行った。また、歯科健診実施市（大阪市、枚方市、和泉市）と連携し、健診時に「たばこ」に関する集団指導を行った。

　③　乳がん検診受診率向上モデル事業

予算額　２，２９０千円

決算額　１，７０５千円

　　府民の乳がん検診の受診率向上に向けて、気軽に検診を受診してもらう機会を創出するため、大型商業施設へ乳がん検診車を派遣し、近隣市町村の住民を対象とした乳がん検診を実施した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施時期 | 実施場所 | 検診受診者数(合計248人) |
| 9/11 | イオンモール四條畷 | 52人 |
| 11/7 | アリオ八尾 | 51人 |
| 2/9 | ニトリモール東大阪 | 48人 |
| 3/15 | イオンモール四條畷 | 97人 |

(4)　健康格差解決プログラム事業

予算額　５３，８７８千円

決算額　５０，９７１千円

　①　市町村及び医療機関と連携し、特定健診未受診者に対して受診勧奨を行った。（（一社）大阪府医師会委託）

|  |  |
| --- | --- |
| 勧奨方法 | 実績 |
| 協力医療機関数 | 42機関 |
| 受診勧奨ハガキの送付 | 【送付数】1,039人  【受診者数】562人（受診率　67％） |

　②　保健師等に対して研修及び意見交換会を実施し、保健師の指導力向上による特定保健指導の実施

率向上及びより効果的な保健指導の実施のための支援ツールを開発した。（大阪大学委託）

|  |  |
| --- | --- |
| 取り組み | 概要 |
| 研修及び意見交換会 | 【回数（日時）】４回  　（①7月26日、②8月28日、③11月13日、④2月6日）  【場所】①～④大阪大学中之島センター  【参加人数・市町村数】208人、22市町村  　（①45人、②48人、③57人、④58人） |
| 支援ツールの開発  ・eラーニング、チャット機能  ・介入優先順位判定ツール | ・保健指導技術の向上や、困難事例への対処方策について、各市町村の保健師等が参照できる機能の活用  ・健診結果等のデータを使用し、ハイリスク判定条件に基づき、優先して保健指導を実施すべき順位を判定するツールを開発 |

　③　商業施設等でフレイル測定会を実施し、リーフレット等を用いた啓発を行うとともに、府民のフ

レイル状況の調査を実施した。（国立医薬基盤・健康・栄養研究所委託）

|  |  |
| --- | --- |
| 取り組み | 概要 |
| フレイル測定会 | 【回数（日時）】４回  　（①10月20日、②10月27日、③11月11日、④3月21日）  【場所】①エキスポシティ（吹田市）、②医薬基盤研究所（茨木市）、  ③摂津市保健センター（摂津市）、④南海電鉄高石駅前広場（高石市）  【参加人数】958人（①328人、②351人、③136人、④143人） |
| フレイル啓発 | ・リーフレット5,600部を作成し、フレイル測定会等でフレイル予防に関して啓発を実施 |
| フレイル状況の調査 | 府民10,000人に対し、アンケート票を郵送して調査を実施。 |

(5)　府民の健康づくり機運醸成事業

予算額　７，０００千円

決算額　６，８２７千円

府民の健康づくりへの機運醸成を図るため、「健活10」<ケンカツ テン>のキャッチフレーズ及びロゴマークを作成した。また、「健活10」の周知・PRを図るため、民間企業等との連携のもと、ポータルページや動画を制作し、府内各所にて交通広告や動画放映等を実施した。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施概要 | 実施時期 |
| 北大阪急行車内中吊りポスターハーフジャック | 11月21、22日／3月13、14日 |
| 北大阪急行車内ビジョン動画放映 | 3月11日～4月7日 |
| 阪急梅田BIGMANビジョン動画放映 | 3月11日～3月17日 |
| 阪急阪神HD情報誌「WellTOKK」広告掲載 | 冬号 |
| 阪急阪神HDのSNS発信  （twitter、facebook、メルマガ） | Twitter：3月4日、11日、18日  Facebook：3月18日  メルマガ：3月13日 |
| エフエム・キタ「週末GOGOナビ!!」にて紹介 | 3月14日 |
| 阪急沿線情報誌「TOKK」にて缶バッジプレゼント | 3月15日発行号 |
| 健活10ポータルページ開設 | 3月19日（暫定版は11月21日） |
| PR動画公開 | 15秒版：2月27日  30秒版、78秒版：3月19日 |

3　健康づくりに関する連携体制の整備

(1)　健康おおさか21推進事業

予算額　２００千円

決算額　２００千円

大阪府健康増進計画に掲げる目標達成に向けた府民の健康づくりを推進するため、健康おおさか21推進府民会議に参画する健康関連団体や府内市町村等と連携を図り、府民が主体となった健康づくりの取組みを進めた。

(2)　地域・職域連携推進事業

予算額　４，６０６千円

決算額　２，７５４千円

生涯を通じた健康づくりを支援するため、行政、事業者、医療保険者等の関係機関による「地域職域連携推進協議会」を運営した。平成３０年度は、「大阪府健康づくり推進条例」の制定に係る審議及び「第３次大阪府健康増進計画」に関する進捗報告を行った。

また、地域特有の課題については、保健所圏域地域・職域連携推進事業において検討し、関係機関との連携を図りつつ、対策を推進した。

(3)　地域医療連携事業の推進

予算額　３，２８２千円

決算額　１，１９１千円

地域において、複数の医療機関が疾患別に形成する診療ネットワークにより、二次医療圏における脳卒中等の地域特性に応じた医療連携体制の充実を図った。

(4)　精度管理基礎調査の実施

予算額　５，３１５千円

決算額　５，３１５千円

府内における検診を円滑に推進するため、特定健康診査等の健康診査及び子宮がん検診における検診実施機関、検査機関の検診精度管理調査を（一社）大阪府医師会に委託して実施した。

4　循環器疾患の予防対策（（公財）大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター委託）

予算額　１１８,３４４千円

決算額　１１８,３４４千円

(1)　市町村国民健康保険、後期高齢者医療制度の医療費データ及び市町村国民健康保険における特定健診・特定保健指導データ、協会けんぽ大阪支部の特定健診データから医療費及び疾病の構造分析を行った。

(2)　市町村における保健事業を効果的に進めるため、市町村の取組み状況、好事例の紹介、行動変容プログラムの活用等に関する研修会の開催を通じ、技術的支援を行った。

(3)　特定集団の健康状況に係るデータを追跡・調査し、蓄積されたデータに基づき、循環器疾患の予防対策に活用した。

(4)　府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能として、循環器疾患の予防に関する情報発信等を行った。

5　健康増進事業の促進

予　算　額　　２５９，３０４千円

決　算　額　　２３６，７７１千円

　市町村が実施する健康増進事業に要する経費について、所要の府補助金を交付した。

○根拠法令等　健康増進法第１７条、第１９条の２